

報道関係者各位

株式会社BCN

〒113-0033 東京都文京区本郷 3-18-14本郷ダイヤビル6F

TEL 03-4236-5200 FAX 03-3818-3006

本件に関するお問い合わせは下記をお願いします。

BCN総研 井門 由香

<http://ranking.computernews.com/>

## 2004年春商戦期のPC関連店頭市場 デジカメ、複合プリンタに支えられ、堅調に推移

株式会社BCN（本社：東京都文京区、代表取締役社長 奥田喜久男）の市場調査部門であるBCN総研は、「BCNランキング」\*から2004年春商戦期のPC関連店頭市場の動向をまとめた。

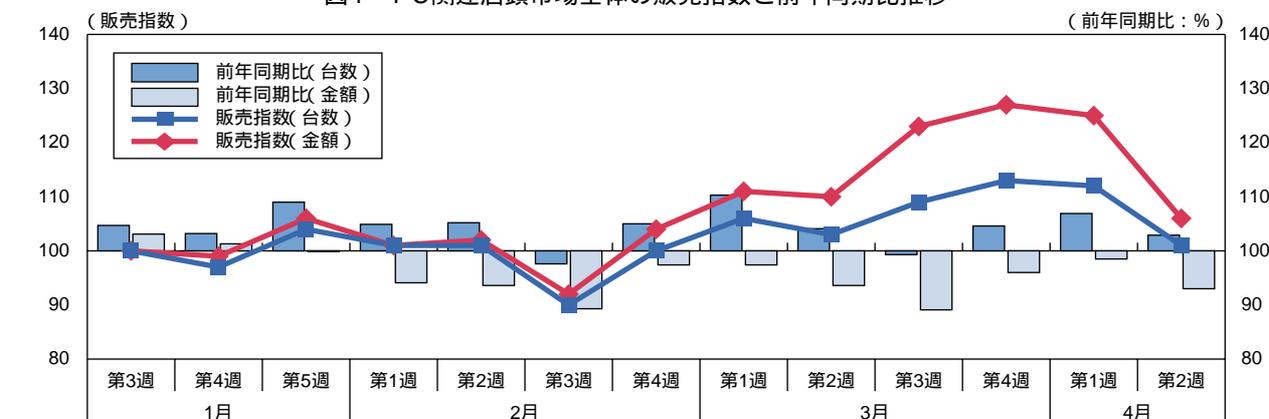
1月第3週（1月12日～1月18日）～4月第2週（4月5日～4月11日）の市場全体の販売は、台数ベースで前年同期比104.4%、金額ベースで同95.7%となり、金額ベースで若干落ち込んだが、概ね堅調に推移したといえる。

台数ベースで伸びが大きかったアイテムは、「複合プリンタ」、「記録型DVD」、「メモリカード」、「カードリーダー」、「デジカメ」。このうち、「複合プリンタ」、「メモリカード」、「デジカメ」は金額ベースでも前年比140%を超え、売上にも貢献した。市場の販売金額構成比では「デジカメ」の比率は12.5%となり、前年同期と比べて4.1ポイント高まった。

\* BCN総研は、東名阪のパソコン大手販売会社14社（エイデン、大塚商会、グッドウィル、コンプ100満ボルト、さくらや、上新電機、ソフマップ、九十九電機、T-ZONE DIY、デンコードー、ニノミヤ、ピーシーデポコーポレーション、ビックカメラ、ラオックス=50音順）653店舗（2004年3月現在）の日々販売データをデイリーで収集し配信するBCNランキングを公表しています。このデータをもとに、PCリテール市場の動向を分析したニュース配信を行っています。

2004年1月第3週（1月12日～1月18日）を基点として春商戦の販売指数推移をみると、2月第3週にいったん落ち込んだ販売は次週以降上昇し、台数・金額ベースとも3月第4週（3月22日～3月28日）にピークを迎えた（図1）。前年と比べると、台数ベースではプラスで推移したが、金額ベースではマイナスで推移し、低価格化の進行がうかがえる結果となった。期間全体では、台数ベースで前年同期比104.4%、金額ベースで同95.7%となり、金額ベースで若干落ち込んだが、概ね堅調に推移したといえる。

図1 PC関連店頭市場全体の販売指数と前年同期比推移



	1月第3週	1月第4週	1月第5週	2月第1週	2月第2週	2月第3週	2月第4週	3月第1週	3月第2週	3月第3週	3月第4週	4月第1週	4月第2週
2004年	1/12～1/18	1/19～1/25	1/26～2/1	2/2～2/8	2/9～2/15	2/16～2/22	2/23～2/29	3/1～3/7	3/8～3/14	3/15～3/21	3/22～3/28	3/29～4/4	4/5～4/11
2003年	1/13～1/19	1/20～1/26	1/27～2/2	2/3～2/9	2/10～2/16	2/17～2/23	2/24～3/2	3/3～3/9	3/10～3/16	3/17～3/23	3/24～3/30	3/31～4/6	4/7～4/13

カテゴリ別にみると、前年同期比で伸びが大きかったのは「PC関連拡張機器」、「マルチメディア機器」、「画像関連機器」(表1) さらにアイテム別にブレークダウンしてみると、台数ベースで130%を超えたのは、「複合プリンタ」、「記録型DVD」、「メモ리카ード」、「カードリーダー」、「デジカメ」、「複合プリンタ」、「メモ리카ード」、「デジカメ」は金額ベースでも140%を超え、売上にも貢献した。これら好調アイテムは、年末商戦期と同じ顔ぶれで(2003年12月12日発表「PC関連店頭市場の動向」) PC本体が振るわないなか、市場を支えている。

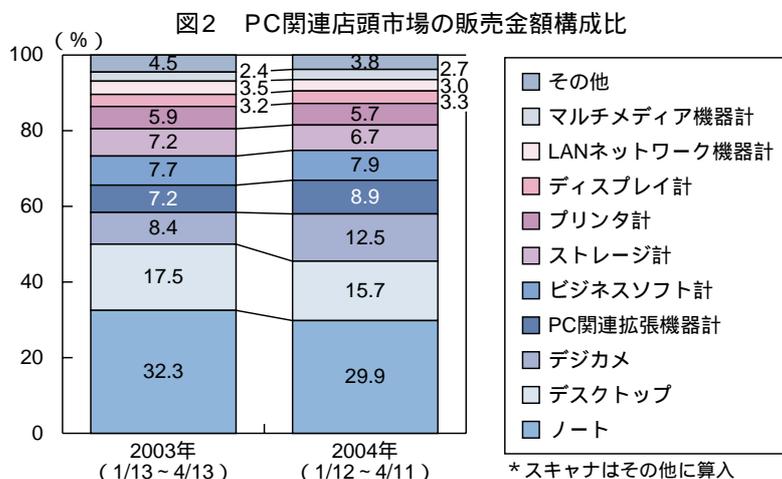
表1 カテゴリ・アイテム別前年同期比 <2004年(1/12~4/11)/2003年(1/13~4/13)> (%)

カテゴリ	アイテム	台数	金額
市場全体		104.4	95.7
PC計(注)		90.1	87.6
	デスクトップ	85.4	85.6
	ノート	92.7	88.7
携帯情報端末(PDA)計		102.6	84.7
ディスプレイ計		89.2	97.2
	CRT	47.7	48.9
	LCD	95.8	101.9
プリンタ計		97.6	91.9
	インクジェット	81.5	74.8
	複合プリンタ	180.8	154.2
	ページ	94.4	94.3
ストレージ計		106.0	88.5
	HDD	114.6	102.5
	記録型DVD	164.1	95.3
	CD-R・RW	50.1	38.8
	MO	78.9	66.0
PC関連拡張機器計		123.7	117.9
	メモリ	79.4	84.3
	メモ리카ード	163.0	179.1
	カードリーダー	131.0	112.5
	マザーボード	101.6	85.0

カテゴリ	アイテム	台数	金額
マルチメディア機器計		117.1	107.1
	スピーカ	103.3	96.9
	サウンド関連	98.6	93.3
LANネットワーク機器計		84.1	81.2
	無線LAN	113.4	94.1
	ルータ	97.3	63.2
画像関連機器計		133.3	135.9
	デジカメ	144.9	141.5
	スキャナ	72.2	76.5
入力装置計		97.8	92.3
	キーボード	102.3	98.0
	マウス	97.3	93.6
ビジネスソフト計		103.5	97.2
PCゲーム計		70.0	66.5

(注)PC計では、イマシーズ社製PCは除外して集計しています

販売金額構成比では、PC(デスクトップ+ノート)が45.6%と5割近くを占めたが、その比率は前年同期と比べると4.2ポイント低下した。その一方で「デジカメ」は12.5%と前年同期と比べて4.1ポイント上昇し、売上におけるデジカメの存在感が高まっている(図2)。PC関連機器の低価格化が進むなか、デジカメは低価格化の影響は小さく、また一眼レフデジカメなど高額商品の需要も高まっている。10万円以上の製品の販売台数は、前年同期比365.0%と大きく拡大している。今後も販売金額構成比におけるデジカメの比率は高まると考えられる。



本リリースについて、今後メールでの配信をご希望の方がいらっしゃれば、対応させていただきます。

お名前・会社名をメールにてお知らせ下さい。

お問い合わせ先: [release@bcn.co.jp](mailto:release@bcn.co.jp)